

「女性のからだの生理学」

女性の心と身体の不思議～アントロポゾフィー医学の観点から

女性のからだは新しく生まれてくる命を守り、
健やかに育む為に、既に胎児の頃からその準備を始めます。
思春期以降はまるでゆっくりととても深い呼吸を繰り返すかの
ような月のリズムと共に準備を繰り返し、
数十年以上、肉体的にも精神的にも女性に影響を与えます。
女性であることはどのような意味を持っているのでしょうか？
アントロポゾフィー医学の観点からみていきたいとおもいます。

(小林 誠)



小林 誠(こばやし まこと)
岩手医科大学卒業、すみれが丘ひだまりクリニック婦人科、
日本産婦人科学会産婦人科専門医、日本アントロポゾフィー医学の医師会会員

2019年2月3日 [日曜日] 10:00～16:00

会場 | 大倉山記念館 ホール

参加費 | 3,500円

(本講座の主催・後援団体の会員は 3,000円)

定員 | 50名(申込先着順)

申込締め切り | 1月25日 [金]

この講座は、アントロポゾフィー芸術療法を学ぼうとする方々、関心のある方々のために、
オーディオパーデ/シュタイナー音楽療法研究会が開催しています。
午後は音楽療法の研究及び症例についてディスカッションをしていきます。
どなたでもご参加いただけます。学ぶ志をもった方のご参加を歓迎いたします。

▶ 10:00～ **医学講義**

◎「女性のからだの生理学」女性の心と身体の不思議～アントロポゾフィー医学の観点から
..... 講師 | 小林 誠(産婦人科専門医)

▶ 13:30～ **症例検討**

◎「肺がん根治手術後成人女性の音楽療法」
..... 西田 恵利子(アントロポゾフィー音楽療法士)

被災体験のショックと不安から心身の硬化傾向を強めたAさんが自分を感じ、形成し、
「表現することの自由さ」を再び得るために歌、動き、楽器を使って音楽療法を行いました。
音楽がどのように働きかけたのか皆さんと考えたいと思います。

▶ 15:00～ **音楽体験**

◎「音程の体験」
..... 李野 芝麻(アントロポゾフィー音楽療法士)

音楽のメロディー、ハーモニーには、音程という「音と音との間」の要素がみられます。
今回は、楽器や歌をとおして、様々な音程を体験してみましょう。メロディー、ハーモニー
体験をとおして、音程の力を感じます。

